

# 企業景況調査報告書

(令和3年7～9月期)

## < 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要	.....	1
質問2 直面している経営上の問題点	.....	2
質問3 BCPの策定状況について	.....	3
質問4 意見等自由記載欄	.....	4
DI集計結果・分布	.....	5
調査票様式	.....	6

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email [cci3103@kurayoshi-cci.or.jp](mailto:cci3103@kurayoshi-cci.or.jp)

# 倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2021年7～9月）

## 調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100社

（建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業22社、サービス業21社、その他6社）

## 調査方法

各事業所宛にFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。

## 調査時期

令和3年10月上旬

## 回収状況

93社（回収率93%） ※前回（4～6月）88社

（建設業18社、製造業19社、卸売業10社、小売業19社、サービス業21社、その他6社）

## 建設業・サービス業では今期・来期ともに上昇傾向

### <今期の状況>（5ページ表参照）

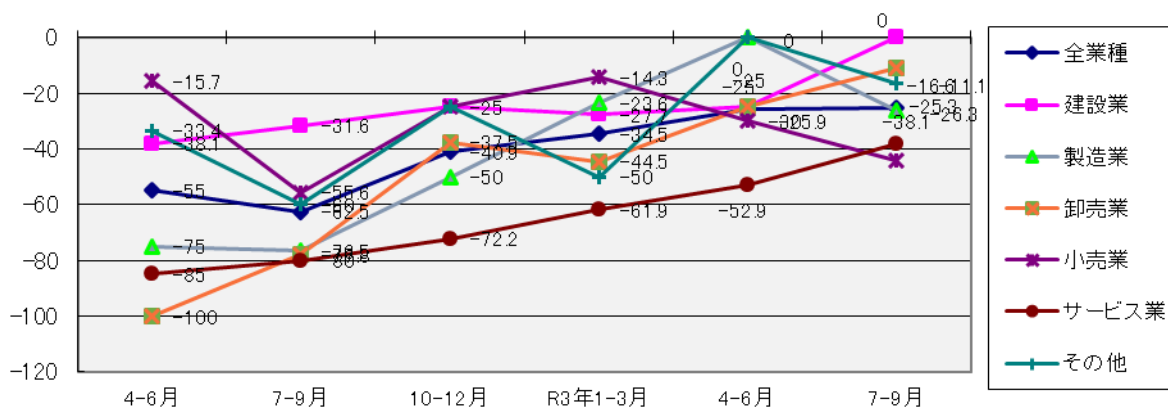
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲25.9から0.6ポイント上昇し、▲25.3となった。業種別に見ると、それぞれ建設業は0.0（前期▲25.0）、卸売業は▲11.1（前期▲25.0）、サービス業は▲38.1（前期▲52.9）と3業種で上昇している。一方、製造業は▲26.3（前期0.0）、小売業は▲44.4（前期▲30.0）、その他の業種は▲16.6（前期0.0）と3業種で下降している状況である。

### <来期の見通し>（5ページ表参照）

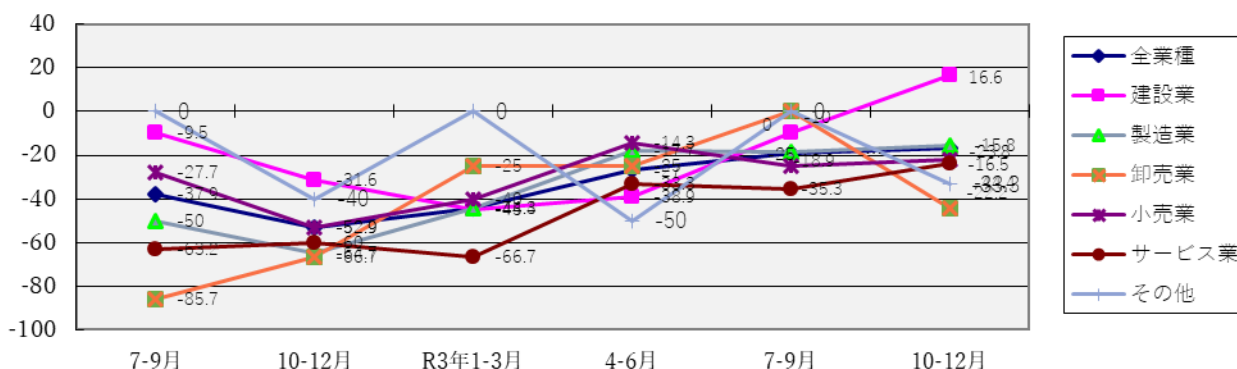
来期の見通し（2021年10～12月）では、全業種のDI値は前期の▲18.9から上昇し、▲16.5となった。業種別に見ると建設業は16.6（前期▲10.0）、製造業は▲15.8（前期▲18.8）、小売業は▲22.2（前期▲25.0）、サービス業は▲23.8（前期▲35.3）と4業種で上昇する見通しとなった。一方、卸売業は▲44.4（前期0.0）、その他の業種は▲33.3（前期0.0）と2業種で下降する見通しとなった。全業種の今期・来期の状況は、ともに僅かな上昇傾向を示す結果となった。また、経営上における課題として「売上・受注減少」「消費・需要の停滞」が引き続き上位に挙げられたほか、建設業・製造業を中心に「原材料・仕入価格上昇」が上位に挙がる結果となった。

### <業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

#### (1) 今期の状況 <業種別>



#### (2) 来期の見通し<業種別>



## 質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

01 競争激化    02 消費・需要の停滞    03 売上・受注減少    04 売上・受注単価低下  
 05 原材料・仕入価格上昇    06 原材料・在庫不足    07 原材料・在庫過剰  
 08 店舗・生産設備不足・老朽化    09 店舗・生産設備過剰    10 経費の増加    11 人手不足  
 12 人手過剰    13 利益率低下    14 代金回収難    15 資金繰り難    16 新分野進出  
 17 その他:具体的に( )

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	売上・受注減少 (49)	消費・需要の停滞 (38)	原材料・仕入価格上昇 (33)
	前 期	売上・受注減少 (55)	消費・需要の停滞 (40)	人手不足 (25)
建設業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (12)	売上・受注減少 (8) 人手不足 (8)	利益率低下 (5)
	前 期	売上・受注減少 (14)	原材料・仕入価格上昇 (10) 人手不足 (10)	消費・需要の停滞 (6) 利益率低下 (6)
製造業	当 期	売上・受注減少 (10)	原材料・仕入価格上昇 (9)	消費・需要の停滞 (7)
	前 期	売上・受注減少 (12)	消費・需要の停滞 (6)	人手不足 (5)
卸売業	当 期	競争激化 (6) 売上・受注減少 (6)	消費・需要の停滞 (4)	利益率低下 (3)
	前 期	売上・受注減少 (6)	競争激化 (5) 消費・需要の停滞 (5)	原材料・仕入価格上昇 (3)
小売業	当 期	消費・需要の停滞 (11) 売上・受注減少 (11)	競争激化 (6)	店舗・生産設備不足・老朽化 (4) 人手不足 (4)
	前 期	売上・受注減少 (12)	消費・需要の停滞 (8)	競争激化 (6)
サービス業	当 期	売上・受注減少 (11)	消費・需要の停滞 (10)	人手不足 (6)
	前 期	消費・需要の停滞 (12)	売上・受注減少 (9)	利益率低下 (5)
その他	当 期	消費・需要の停滞 (3) 売上・受注減少 (3)	原材料・仕入価格上昇 (2) 経費の増加 (2)	競争激化 (1) 売上・受注単価低下 (1) 人手不足 (1) 利益率低下 (1) その他 (1)
	前 期	消費・需要の停滞 (3)	競争激化 (2) 売上・受注減少 (2) 人手不足 (2) 利益率低下 (2)	経費の増加 (1)

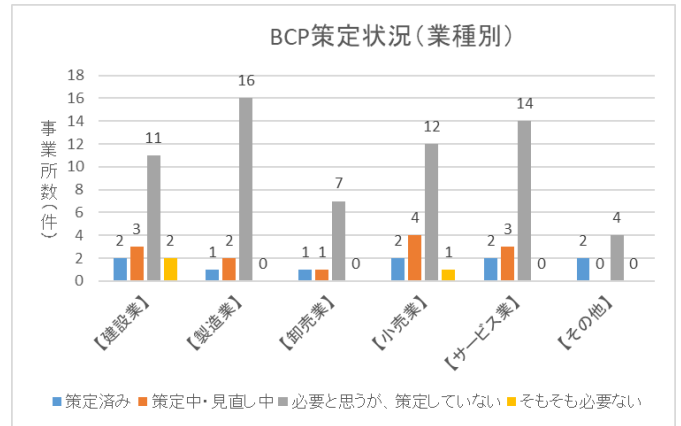
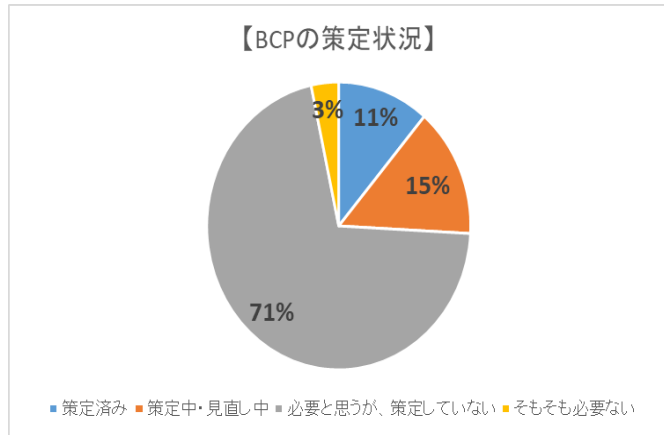
17 その他

- ・コロナの影響
- ・熟練技術者の不足
- ・市場がない

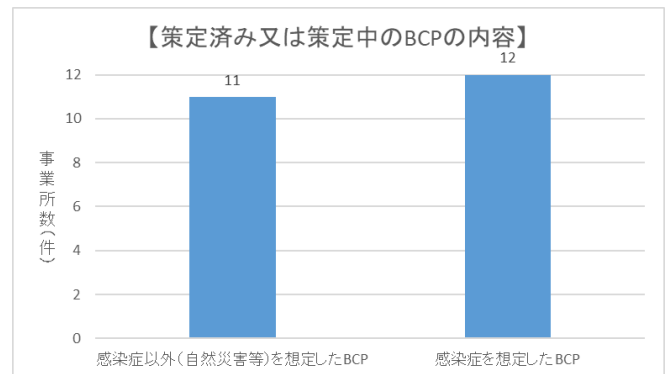
### 質問3 BCPの策定状況について

#### 全体の約3割の事業所がBCP策定に取り組む姿勢

7, 8月に発生した豪雨災害等の風水害や今後起こり得る地震等の自然災害、感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症など様々なリスクに対する備えとして、BCP(事業を継続するための計画)策定の必要性が指摘されている。それに関連して、BCPの策定状況について調査を実施した。その結果、「策定済み」という回答は11%、「策定中・見直し中」という回答は15%あり、合わせると全体の約3割の事業所がBCPの策定に取り組んでいることが示された。一方、「必要と思うが、策定していない」という回答は最も多い71%、「そもそも必要ない」という回答は3%挙げられた。

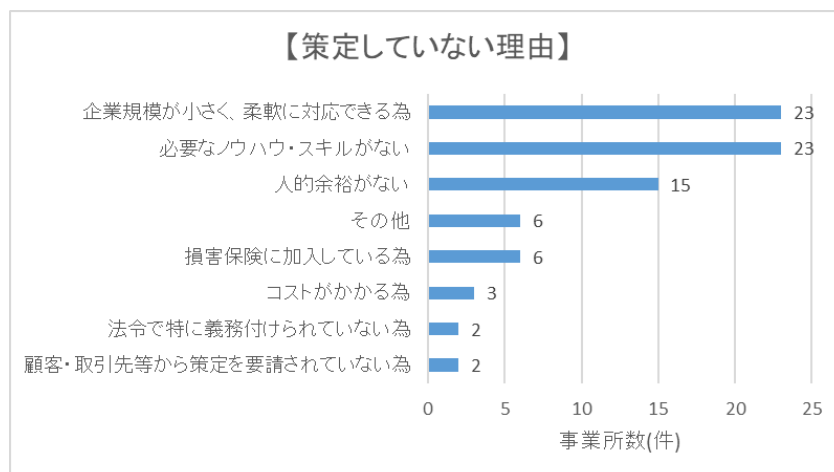


「策定済み」「策定中・見直し中」と回答した事業所には、策定済み又は策定中のBCPの内容についても併せて調査を行った。その結果、「感染症以外(自然災害等)を想定したBCP」という回答は11件、「感染症を想定したBCP」という回答は12件でほとんど差は見られなかった。内訳を見てみると、「感染症以外(自然災害等)を想定したBCP」は策定済み、「感染症を想定したBCP」は策定中のところがそれぞれ僅かに多いことが示された。また、中には両方を策定済みの事業所も見られた。



一方、「必要と思うが、策定していない」「そもそも必要ない」と回答した事業所に策定していない理由について調査したところ、「企業規模が小さく、柔軟に対応できる為」「必要なノウハウ・スキルがない」という回答が最も多く挙げられ、次いで「人的余裕がない」が多い結果となった。その他の回答としては、「BCPという言葉を初めて知った」「特に必要と感じていない」という意見が挙げられた。

	BCP策定状況(内訳)	
	感染症以外	感染症
策定済み	6	4
策定中	5	7



#### 質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

##### 【建設業】

- ・コロナ感染が落ち着いていない中で、雇用を増やしていても大丈夫か心配するところもある。しかし、人手不足もあり人材育成も課題となっている。
- ・ウッドショックにより木材価格が上昇していて困っている。
- ・借入金の返済の見直しをしてほしい。返済期間の延長など。

##### 【製造業】

- ・ウッドショックによる木材価格の上昇で、木材離れが起きないか心配している。

##### 【小売業】

- ・昨年は景気悪化によりリストラした為、今度は人手不足に直面している。今は長期に働いてくださる方を求めている。
- ・コロナ感染予防で接触退避による来店客の大幅減少。
- ・コロナの影響もようやく出口が見え始めた。今後経済効果の上がる方策を。

##### 【サービス業】

- ・コロナによる売上減少の支援金を増大してほしい。
- ・コロナの心配があるが、条件付きでも観光客増を希望。
- ・コロナの影響が大きく残る。
- ・コロナウイルス感染対策により、地域全体の経済が縮小しているのではないかと心配しております。経済対策をしっかりとやっていただきたいと思います。但し、公共事業も出してほしいですが、出しすぎはネタ切れと消化不良を起こし後で苦しみますので、ほどほどにとも思っております。
- ・緊急事態宣言解除で景気回復を期待します。衛生面のコスト上昇により利益率が低下しています。値上げも検討中。

D I 集 計(前年同期比=2021年7~9月期、来期の見通し=2021年10~12月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-30.1	-22.0	-2.2	-2.2	-27.9	-25.0
製造業	-36.8	-36.8	16.7	5.6	-15.8	-21.1
非製造業	-28.4	-18.0	-6.7	-4.2	-31.1	-26.1

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-9.6	-8.7	2.1	-1.1	-5.5	3.3
製造業	5.3	-10.5	10.5	10.5	-10.6	21.0
非製造業	-13.5	-8.3	0.0	-4.1	-4.1	-1.4

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-25.3	-16.5
製造業	-26.3	-15.8
非製造業	-25.0	-16.7

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-30.1	-22.0	-2.2	-2.2	-27.9	-25.0
建設業	-5.5	-5.6	5.6	0.0	0.0	-11.1
製造業	-36.8	-36.8	16.7	5.6	-15.8	-21.1
卸売業	-10.0	-40.0	30.0	10.0	-20.0	-40.0
小売業	-47.4	-15.7	-21.1	-5.3	-68.4	-26.3
サービス業	-47.6	-15.8	-19.0	-10.5	-33.4	-30.0
その他	0.0	-33.3	-16.7	-16.7	-16.6	-33.3
非製造業	-28.4	-18.0	-6.7	-4.2	-31.1	-26.1

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-9.6	-8.7	2.1	-1.1	-5.5	3.3
建設業	16.7	11.1	16.6	16.6	-5.6	0.0
製造業	5.3	-10.5	10.5	10.5	-10.6	21.0
卸売業	-10.0	-30.0	0.0	-20.0	-11.1	0.0
小売業	-31.6	-10.5	-15.8	-15.8	-16.7	-5.5
サービス業	-28.6	-15.0	0.0	-4.7	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
非製造業	-13.5	-8.3	0.0	-4.1	-4.1	-1.4

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-25.3	-16.5
建設業	0.0	16.6
製造業	-26.3	-15.8
卸売業	-11.1	-44.4
小売業	-44.4	-22.2
サービス業	-38.1	-23.8
その他	-16.6	-33.3
非製造業	-25.0	-16.7

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

倉吉商工会議所企業景況調査票(2021年7~9月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2021年7~9月)の状況と、今期と比較した来期(2021年10~12月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化          | 10 経費の増加    |
| 02 消費・需要の停滞      | 11 人手不足     |
| 03 売上・受注減少       | 12 人手過剰     |
| 04 売上・受注単価低下     | 13 利益率低下    |
| 05 原材料・仕入価格上昇    | 14 代金回収難    |
| 06 原材料・在庫不足      | 15 資金繰り難    |
| 07 原材料・在庫過剰      | 16 新分野進出    |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他:具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰     | ( )         |

回答欄

1位 \_\_\_\_\_

2位 \_\_\_\_\_

3位 \_\_\_\_\_

【質問3】7,8月に発生した豪雨災害等の風水害や今後起こり得る地震等の自然災害、感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症など様々なリスクに対する備えとして、BCP(事業を継続するための計画)策定の必要性が指摘されています。それに関連して以下の質問にご回答ください。

1. BCP(事業継続計画)の策定状況について

- ① ( ) 策定済み / ② ( ) 策定中・見直し中  
 ③ ( ) 必要と思うが、策定していない / ④ ( ) そもそも必要ない

2. 【1で①又は②と回答した方】策定済み又は策定中のBCPの内容について

- ① ( ) 感染症以外(自然災害等)を想定したBCP / ② ( ) 感染症を想定したBCP

3. 【1で③又は④と回答した方】策定していない理由

- ① ( ) 必要なノウハウ・スキルがない / ② ( ) コストがかかる為 / ③ ( ) 人的余裕がない  
 ④ ( ) 企業規模が小さく、柔軟に対応できる為 / ⑤ ( ) 顧客・取引先等から策定を要請されていない為  
 ⑥ ( ) 損害保険に加入している為 / ⑦ ( ) 法令で特に義務付けられていない為  
 ⑧ ( ) その他 [ ]

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。